

9月・10月の管理ポイント

今年の夏は異例の早さでの梅雨明け後の高温、前線停滞や台風による大雨などベントグラスにとって厳しい夏になっています。9月以降も気温が高い状態が続く見込みですので、残暑対策を行いながら芝生が回復しやすい環境を整えていきましょう。



ドライの治療剤
種子の発芽均一化にも

アクアダクト

播種後の界面活性剤処理には、種子の発芽や生育初期にも安全性の高いアクアダクトが最適です。芝生の種子は表面を覆う絨毛が撥水し水に浮きやすいため、降雨や散水の水で種子が寄ったり流亡してしまうことがあります。播種後の界面活性剤の処理は種子の撥水を抑え吸水を促進することにより流亡を予防、発芽の均一化や初期生育の促進に役立ちます。

オーバーシード・インターシード等の播種後に処理 使用量：1.25~2.5ml 水量：100ml~1ℓ

自然な色調の着色剤

カラーメイトNEO M・D

9/5
新発売

カラーメイトNEOは、季節感を重視した自然な色調に仕上がる着色剤です。耐光性の高い顔料の粒子が鮮やかな緑色を演出し、耐水性の高い樹脂が色落ちを軽減します。色調の好みや目的によりM(明るい緑)とD(暗い緑)の2色から選ぶことが出来ます。地温・葉温を上昇させることにより、春季の立ち上がりを促進します。芝の色を美しく引き出すため、冬枯れする前の使用がおすすめです。

使用量：2ml/m² 希釈倍率：50~100倍 散布水量：100~200ml/m²

サッチの除去
土壤環境の健全化

サッチクリーナー

サッチ成分のセルロース・ヘミセルロースを分解する酵素を主成分とした、酵素タイプのサッチ分解剤です。酵素そのものを散布するため即効性に優れており、サッチ分解量をコントロールすることが可能です。取扱いやすい液剤でフィルターに詰まらず、農薬との混用や近接散布も可能です。土壤の透水性や通気性を改善しましょう。土壤微生物のが活発な時期なので、微生物タイプのサッチ分解剤「サッチ・マネージャー」もおすすめです。

使用量：グリーン0.2ml/m² ラフ・FW・Tee0.1-0.2ml/m² 散布水量0.2-0.5ℓ/m²

土壤中の有害物質除去

光合成細菌

過湿状態の土壤中に発生しやすい硫化水素やメルカプタンなどは、イヤな臭いがするだけでなく根を痛めます。光合成細菌を処理して有害物質を除去しましょう。光合成細菌は硫化水素などを分解するだけでなく、他の有用微生物の餌となるアミノ酸やATP、ADP(高エネルギーリン酸化合物：補酵素)などを分泌し、有用な土壤微生物の住みやすい環境を作ります。サッチ分解剤と組み合わせると、サッチを効率よく分解できます。

使用量：1~2ml 1ℓ/m²散布 月1~2回

根の生育しやすい
土壤環境を整えましょう

レボ

近年は秋にも台風やゲリラ豪雨などの短時間での大量降雨が増えています。レボは排水性が高く表層土壤の水分値を低めに保つため、過湿状態になりがちな降雨後にも気相をしっかり保ちます。定期散布を行い根の生育しやすい土壤環境を整えましょう。土壤水分を高めに保ちたい場合はプライマーセレクト、液肥などとのタンクミックスにはグリーンシナジー、スポット処理には手播きしやすい粒剤タイプのハイドレーターGがおすすめです。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回

病害予防に

グリーンオキシラン水和剤

グリーンオキシランは有機銅とキャプタンが有効成分の防除剤です。着色剤入りで希釈液が緑色なので、散布した後の葉が黄色くならず、美観を損ないません。幅広い病害に効果があり、更新作業後の保護殺菌にお勧めです。

使用量：ベントグラス_希釈倍率300-500倍 1-2ℓ散布/m² 日本芝 希釈倍率500倍 1-2ℓ散布/m²

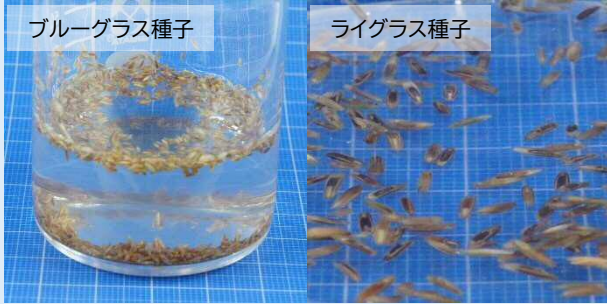
アクアダクトによる発芽の均一化

残暑を乗り越え気温が落ち着くと、芝の補修やオーバーシードで種を蒔く機会が多くなります。
そこで今回は、播種時にアクアダクトを散布するメリットについて紹介します。

種子+アクアダクト(500倍希釈)

種子への効果

種子+水



種子が濡れて吸水し、水に沈む



表面を覆う繊維毛で種子が撥水し、水に浮く

アクアダクト

発芽への効果

水のみ



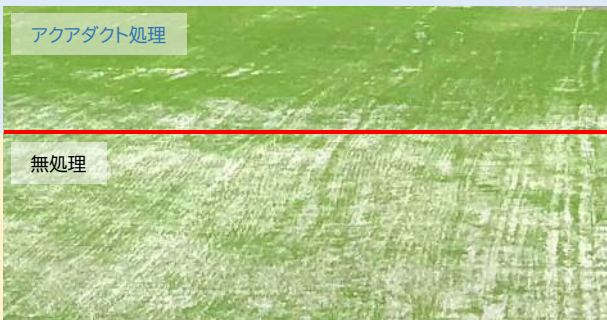
発芽が早く均一に揃い、初期生育が良くなる



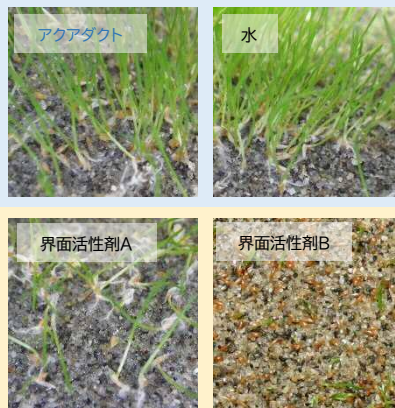
発芽が揃わず、初期生育にムラが出る

ペントナーセリー造成時の効果: 播種12日後の様子

アクアダクト処理区は発芽が早く、初期生育も均一に！
散水しても種子が浮かず流れにくい！



発芽時期にも高い安全性



界面活性剤を処理した砂にペントグラスを播種

アクアダクトは感受性の高い発芽時期や初期生育期にも安全

種子の発芽や初期生育に悪影響を及ぼしてしまう界面活性剤もある

播種時に
アクアダクトを処理

- ・種子が濡れて吸水し発芽しやすくなる
- ・吸水した種子は重くなり、流亡しにくくなる

発芽の均一化
初期生育の促進

播種時の界面活性剤処理は初期生育の均一化、種子流亡の防止といった効果が期待できます。
芝の補修やオーバーシードなど種子を蒔くときには、安全性の高いアクアダクトを組み合わせましょう！